

## 令和5年度 授業改善推進プラン

### 【社会】

学年	現状の課題	指導の重点と改善策 ※求められる力【短期と中・長期】
1 学 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な語句、人名、地名を覚える。</li> <li>・地理や歴史の因果関係、メリット・デメリット等について考え、 自分の意見にまとめ表現する能力を身に付ける。</li> <li>・グラフや資料を読み取り、社会的事象を多面的にとらえる。</li> <li>・自らの考えを根拠づけて他者に伝える。</li> </ul>	<p>【短期】復習ノートやワーク、ワークシートを通じて、単元毎の重要語句などを確実に理解する。随時、小テストを実施する。資料やグラフ、地図などに親しみ、資料活用をつけていく。</p> <p>【中・長期】論述(レポート)やディベート、プレゼンテーションなど、今後必要とされる能力を身に付けられるような活動を行う。</p>
2 学 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な語句、人名、地名を覚える。</li> <li>・地理や歴史の因果関係、メリット・デメリット等について考え、 自分の意見にまとめ表現する能力を身に付ける。</li> <li>・グラフや資料を読み取り、社会的事象を多面的にとらえる。</li> <li>・自らの考えを根拠づけて他者に伝える。</li> </ul>	<p>【短期】復習ノートやワーク、ワークシートを通じて、単元毎の重要語句などを確実に理解する。随時、小テストを実施する。資料やグラフ、地図などに親しみ、資料活用をつけていく。</p> <p>【中・長期】論述(レポート)やプレゼンテーションなど、今後必要とされる能力を身に付けられるような活動を行う。</p>
3 学 年	<p>・学習定着率が高い人とそうでない人の差が激しく、理解度が二極化している。一斉授業を続けていくだけでは、個々の理解度の差は縮まらず、二極化が進んでいってしまう。個に応じた学習活動と集団による学習活動の双方をバランスよく取り入れ、全体の理解力の底上げをねらう。</p>	<p>【短期】グラフや資料に親しみやすい説明を心がける。自分の考えをすぐにまとめられるようなプリントを作成し、関連する項目を表現する事例を紹介する。</p> <p>【中・長期】毎回の授業の中で、自分の考えを述べる機会、資料を読み解く時間を作る。既習事項の復習、分野にまたがる課題、内容については、各分野の特色を中心に理解を深める時間をとる。</p>